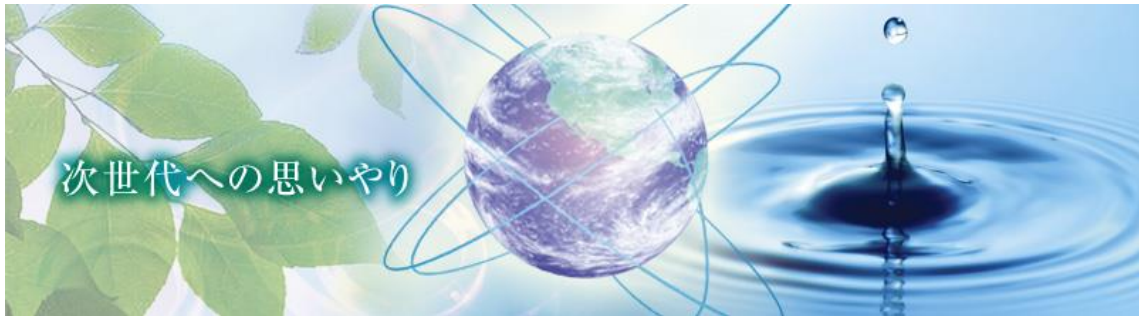


エコアクション 21 環境経営レポート

2021 年度



新型コロナウイルスに、うつらない、うつさないを優先に！

早期終息を心よりお祈り申し上げます。



活動期間 2020年 10月 1日 ～ 2021年 9月 30日

株式会社 ウェルサイクル

2022年 1月 18日 作成

環境経営レポート目次

1. 組織の概要及び事業活動内容(許可内容、許可業種、収集運搬車両、
廃棄物処分施設、保管種類及び保管ならびに保管面積) P1~6
処理フロー
2. 環境経営方針 P7
3. エコアクション 21 組織表及び責任者の役割・責任・権限 P8
4. 2021 年度環境経営目標・実績・評価 P9~10
5. 2021 年度環境経営活動 P11
6. 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果ならびに違反、
訴訟等の有無 P12
7. 2021 年度環境経営活動の取組結果とその評価、次年度の取組課題 P13
8. 代表者による評価と見直し P14

組 織 の 概 要

- 1) 事業所及び代表者 株式会社 ウェルサイクル 代表取締役社長 佐藤 昭 秀
- 2) 所在地・事業の規模本社 本社工場 長野県上田市天神 3-11-40
長野出張所 長野県長野市東和田 718-1 1F
- 3) 会社設立 平成 13 年 10 月 19 日 資本金 1,000 万円 従業員数 63 名 売上高 708 百万円
- 4) 2021 年度 産業廃棄物 処理量 3,479 t 収集運搬量 1,738 t
- 5) 2021 年度 一般廃棄物 処理量 3,540 t 収集運搬量 6,950 t
- 6) 環境保全関係の責任者及び担当連絡先 統括責任者 代表取締役 副社長 小山和彦
- 7) 環境管理責任者 業務施設課長 滝沢伸治 環境管理事務局 増田美由紀
連絡先 TEL 0268-26-1820 FAX 0268-26-1840 Eメール wellcycle@ca.wakwak.com
ホームページ <http://www.wellcycle.jp>
- 8) 事業活動内容 一般廃棄物収集運搬業・一般廃棄物処分業（中間処理）・産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物処分業（中間処理）

【 許 可 内 容 】

許可種類	許可行政	許可番号	許可年月日	許可有効期限
産業廃棄物処分業許可	長野県	2021097948	H26.2.17	R6.2.16
産業廃棄物収集運搬業許可	長野県	2011097948	H24.8.21	R4.8.20
	新潟県	01509097948	H23.9.2	R8.9.1
	群馬県	1000097948	H23.9.13	R8.9.12
一般廃棄物処分業	上田市	2002	H27.4.1	R5.3.31
一般廃棄物収集運搬業許可	上田市	1101	H27.4.1	R5.3.31
	青木村	青木保衛第 518 号	H27.4.1	R5.3.31
	東御市	25 市民第 3-1 号	H27.4.1	R5.3.31
	小諸市	指令第 75 号	H27.4.2	R5.9.23
	坂城町	指令 20 坂住第 24-1 号	H26.4.1	R4.3.31
	中野市	指令 25 第 1107 号	H26.4.1	R4.3.31
	長野市	許可第 10135 号	H26.4.1	R4.3.31
	長和町	許可番号 13-27	H27.6.25	R5.6.24
古物商	長野県公安委員会	481101100013	—	
金属資源商	長野県公安委員会	481101780005	—	
一般建設業	長野県	第 24506 号	H25 年 1.21	R5.1.21

8 条施設 第 03-03401 号 ごみ処理施設（圧縮施設） 第 03-03405 号 ごみ処理施設（圧縮梱包施設）
第 03-03304 号 ごみ処理施設（破碎施設） 15 条施設 070130 廃プラスチック類・木くずの破碎施設（固定）

【 産 業 廃 棄 物 処 分 業 許 可 】 (中 間 処 理)

破砕する産業廃棄物	圧縮する産業廃棄物	圧縮梱包する産業廃棄物
廃プラスチック類	金属くず	廃プラスチック
木くず		紙くず
ガラスくず		木くず
コンクリートくず及び陶磁器くず		繊維くず
がれき類		

【 産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業 許 可 】

収集運搬（積替保管を含む）	収集運搬（積替保管を除く）
木くず	燃え殻
繊維くず	汚泥
ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有産業廃棄物を含む）	廃油
がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）	廃酸
	廃アルカリ
	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）
	紙くず
	動植物性残さ
	金属くず
	鉋さい
	ばいじん
	※特別産業廃棄物を除く

【 収 集 運 搬 車 両 】

車 種	350 kg	2 t	3 t	4 t	8 t	12 t
キャブオーバ	2 台	1 台		1 台		
ダンプ	1 台	3 台		1 台		
脱着装置付コンテナ専用車		1 台	2 台	2 台	1 台	1 台
塵芥車		7 台	5 台	2 台		
小計	3 台	12 台	7 台	6 台	1 台	1 台
合計						30 台

【 廃棄物処分施設 】(中間処理)

一 般 廃 棄 物 処 分 施 設	
種 類	処 理 能 力
破砕施設	36.80 t/日 (8時間)
破砕機及び手選別コンベア	4.8 t/日 (5時間)
空き缶プレス機	4.8 t/日 (5時間)
ペットボトル圧縮梱包機	4.8 t/日 (5時間)
金属圧縮施設	35.52 t/日 (8時間)
廃プラスチック選別圧縮梱包施設	14.64 t/日 (8時間)
スプレー缶及びライター等破砕機	0.57 t/日 (8時間)
ガラスくず等の破砕施設	4.5 t/日 (8時間)
産 業 廃 棄 物 処 分 施 設	
種 類	処 理 能 力
廃プラスチック類・木くずの破砕施設	廃プラスチック類 36.96 t/日 (4.62 t/h : 8時間稼働)
	木くず 36.8 t/日 (4.6 t/h : 8時間稼働)
廃プラスチック類等の圧縮梱包施設	廃プラスチック類 16.0 t/日 (2.0 t/h:8時間稼働)
	紙くず 23.2 t/日 (2.9t/h:8時間稼働)
	木くず 36.8 t/日 (4.6 t/h:8時間稼働)
	繊維くず 20.0 t/日 (2.5 t/h:8時間稼働)
金属の圧縮施設	35.52 t/日 (4.44 t/h:8時間稼働)
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の破砕施設	4.5 t/日 (0.566 t/h:8時間稼働)
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずの破砕施設	4.48 t/日 (0.56 t/h:8時間稼働)

【 積替え保管量及び保管面積 】

積 替 え 保 管	保管量m ³	保管面積m ²
①繊維くず	8.00	13.50
③石綿含有産業廃棄物	8.00	13.50
④ガラス・コンクリート・陶磁器くず	8.00	13.50
⑤木くず	8.00	13.50
⑥ガレキ類	8.00	13.50
⑦廃プラ類	85.05	77.00

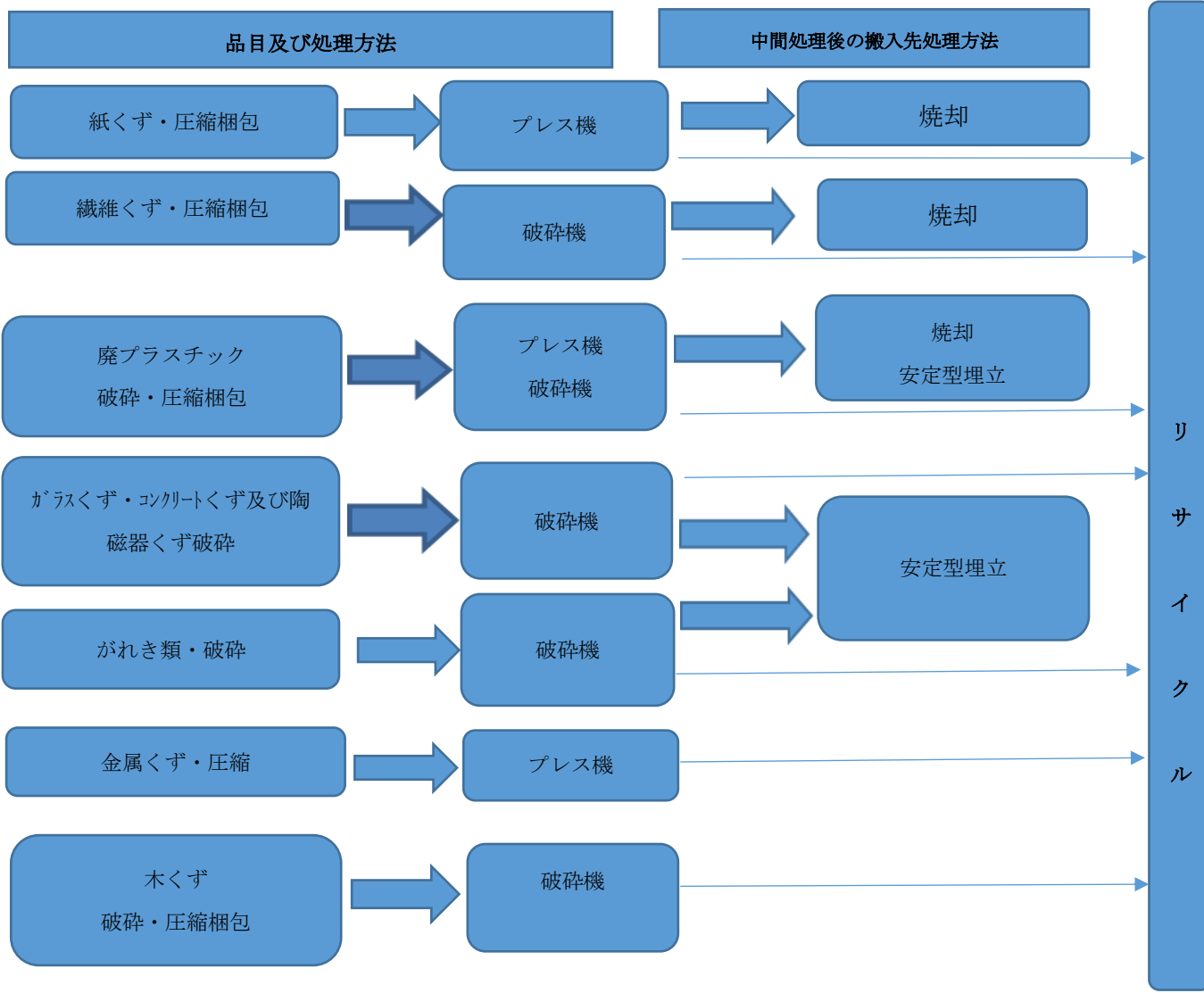
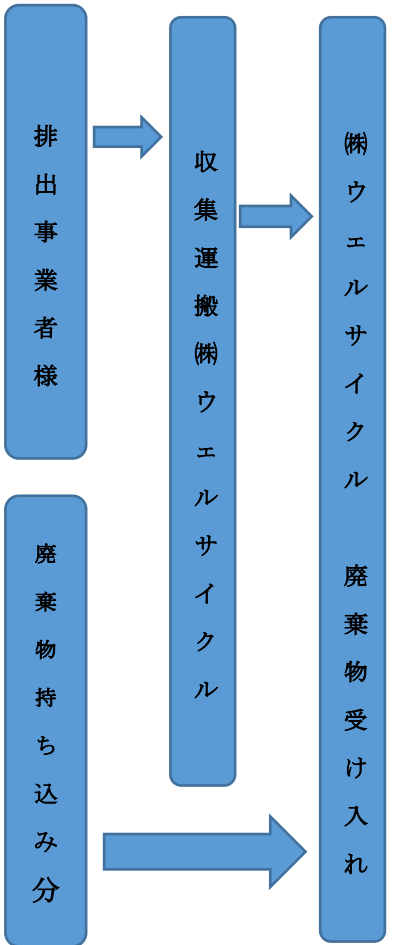
【 一般廃棄物保管量及び保管面積 】

一 般 廃 棄 物 保 管 名	保管量m ³	保管面積m ²
⑪圧縮（金属くず）処理前	37.125	33.00
⑫圧縮・梱包（容器包装プラスチック）処理後	48.225	25.00
⑬圧縮・梱包（廃プラスチック）処理前	66.455	65.15
⑭破碎（廃プラ、金属の混合物）処理前	15.75	15.00
⑮破碎（三種混合物）処理前	4.00	8.00
⑯破碎（三種混合物）処理後	8.00	13.50
⑰破碎（廃プラスチック）処理後	19.875	21.20
⑱破碎（廃プラスチック）処理前	15.00	17.50
⑲圧縮（金属くず）処理後	69.98	32.76
⑳破碎（木くず）処理後	16.00	13.50
㉑破碎（ガラスくず）処理後	0.40	0.85
㉒破碎（陶器くず）処理後	0.40	0.85

【 産業廃棄物保管量及び保管面積 】

産業廃棄物保管名	保管量m ³	保管面積m ²
㉑圧縮（金属くず）処理前	37.125	33.00
㉒破碎（ガレキ類）処理後	27.00	24.00
㉓圧縮梱包・破碎兼用（廃プラスチック）処理前	51.45	35.00
㉔破碎（木くず）処理後	31.29	31.29
㉕破碎（木くず）処理前	10.92	14.11
㉖破碎（廃プラスチック）処理後 ハッポー	32.00	16.00
㉗破碎（石膏ボード）処理前	8.00	13.50
㉘圧縮梱包（紙くず）処理前	8.00	13.50
㉙破碎（石膏ボード）処理後	8.00	13.50
㉚圧縮梱包（繊維くず）処理前	8.00	13.50
㉛破碎（ガレキ類）処理前	8.00	13.50
㉜圧縮梱包（繊維くず）処理後	16.00	8.00
㉝圧縮梱包（木くず）処理後	16.00	8.00
㉞圧縮梱包（紙くず）処理後	16.00	8.00
㉟圧縮梱包（廃プラスチック）処理後	16.00	8.00
㊱圧縮（金属くず）処理後	58.32	27.72
㊲破碎（ガラス・コンクリート・陶磁器くず）処理前	8.00	11.34
㊳破碎（ガラス・コンクリート・陶磁器くず）処理後	8.00	11.34

㈱ウェルサイクル
廃棄物フロー



環 境 経 営 方 針

環 境 経 営 理 念

株式会社ウェルサイクルは廃棄物を創意無限の技術や知恵で、資源として分別・再生加工し、地球環境に貢献します。そして、次世代の為に安らぎと潤いのある環境を目指します。

行 動 指 針

1. 当社に適用される環境に関する法規等を遵守する。
2. 環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努める。
3. 一般廃棄物排出量を削減する。
4. 二酸化炭素排出量を削減する。
 - ① 工場内廃棄物処理機械・事務所の電気使用量を削減する。
 - ② 収集運搬車両・工場内重機類の燃料使用量を削減する。
5. 水使用量を削減する。
6. 受託した廃棄物の再資源化を推進する。
7. 社員全員に活動内容を周知徹底する。

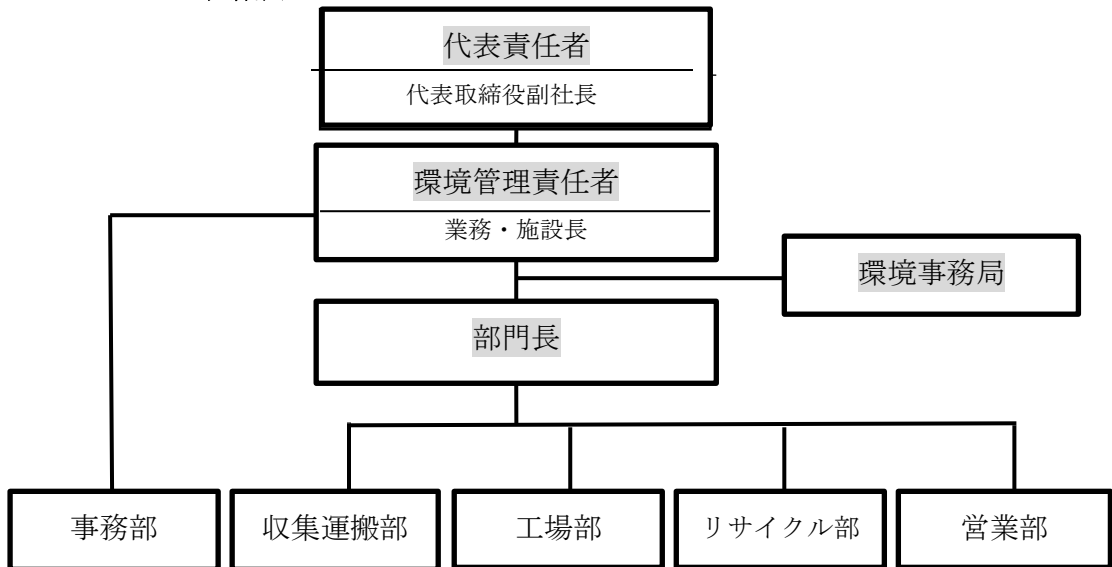
2013年4月18日 制定

2019年9月26日 改定

株式会社ウェルサイクル

代表取締役 副社長 小山 和彦

エコアクション21組織表



代表責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の決定 ・システムと評価の見直し ・環境関連法規等の遵守評価 ・環境目標・環境活動・レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ ・環境目標・環境活動計画の確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・レポート確認 ・取り組みの確認・評価・指示
環境事務局 (E A21 事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック実績 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・部門における環境方針の周知 ・部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・緊急時、事故時の措置訓練の実施、記録の作成 ・問題点の発見、是正、予防の処置の実施

全従業員

- ・環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚
- ・決めた事を守り、自主的、積極的に環境活動への参加

環境経営目標

環境目標 (中期計画)

項目		2016年度 (基準値)	2020年度 (目標) 96%	2021年度 (目標) 95%	2022年度 (目標) 94%
電力	kWh	113,458	108,919	107,785	106,650
	kg-co2	55,027	52,825	52,275	51,725
ガソリン	ℓ	9,330	8,956	8,863	8,770
軽油		96,582	92,718	91,752	90,787
	kg-co2	275,125	264,120	261,368	258,617
co2 総排出量	kg-co2	333,716	320,367	317,030	313,693
一般廃棄物の削減	Kg	341	327	324	320
水	m3	965	926	916	907
項目		2016年度	2020年度	2021年度	2022年度
受託した廃棄物の再資源化	t	1,294	1,346	1,358	1,371
木くずチップの生産量	%	(基準値)	104%	105%	106%
グリーン購入	—	購入の継続	購入の継続	購入の継続	購入の継続
社会貢献	—	活動の継続	活動の継続	活動の継続	活動の継続

実績・評価

環境実績 2020年度 2020年10月～2021年9月

項目		2016年度 実績（基準値）	2021年度 目標	2021年度 実績	評価
電力	kWh	113,458	107,785	155,943	×
	kg-co2	55,027	52,275	75,632	
軽油・ガソリン	ℓ	105,912	100,615	135,020	×
	kg-co2	275,125	261,368	345,990	
CO2 総排出量	kg-co2	333,716	317,030	426,878	×
水	m3	965	916	829	○
一般廃棄物の削減	kg	342	324	324	○
木くずチップの生産量	t	1,294	1,358	2,414	○
社会貢献	—	活動の継続	活動の継続	活動の継続	○

※中部電力の二酸化炭素排出係数は 0.485kg-CO2/kWh を使用しました。

2021年度 環境経営計画

○ 全従業員

- ・休憩室、工場内の電気の消灯を確認する
- ・コロナ感染予防の為、換気を優先しつつ空調温度の適正化
- ・一般廃棄物の分別の徹底し、削減に努める
- ・節水に努める

○ 収集運搬部・営業部

- ・エコドライブの励行・安全運転の徹底
- ・ドライブレコーダーのデータによる、運転技術の指導
- ・効率的なルートの選定

○ 事務部・業務部

- ・書類の電子化
- ・コロナ感染予防を優先し、事務所の節電に努める
- ・特定非営利活動法人への支援活動の継続

○ 工場部

- ・中間処理機械の節電に努める
- ・重機・ショベルローダー等の安全運転及びエコドライブの励行
- ・節水に努める

○ リサイクル部

- ・バイオマス発電用木質燃料チップの増産、品質の保持

2021年度 環境経営活動の取組み結果とその評価 次年度の取組み課題

○電力の二酸化炭素削減

前年度同様、電力の削減目標は未達成でした。弊社の電力使用量の大半を占める中間処理機（木質燃料チップ製造用の破砕機）の、稼働時間が大幅に増加したのが要因である。未達成ではあるが、入って来る物に対しての機械の稼働時間が増えるのは仕方のない事なので電力に関して達成は出来ませんでした。満足のいく結果と言える。次年度も廃棄物の量次第で変わってくると思う。

○自動車等燃料の二酸化炭素削減

前年度同様、ガソリン使用量は達成出来たが軽油使用量が未達成となった。コロナ感染を防ぐ為、密にならぬよう少人数での移動など現場に行く車両を増やした。自社で運搬する品目が増加。以上の理由から達成できなかったと思う。次年度もトラックの運行回数が増えたと見込んでいます。効率の良い方法を検討し対応していきたいと思う。

○一般廃棄物の削減

目標達成となった。次年度も継続して行ってほしい。ゴミの分別は良く出来ているので、社員が徹底した分別が出来るよう継続して行ってほしい。

○水道水の削減

木質燃料チップ製造時の防塵の為に水道水を散水しているのが大半を占めると思うが、木くずチップの生産量が大幅に増加しているにも拘わらず、水道水使用量は減っている。近隣住民から苦情等はないが、次年度は必要な量の散水をしっかり行っていきたい。

○受託した廃棄物の再資源化の推進（木質燃料チップの増産）

目標達成できた。持ち込み業者の増加で、木くずの搬入が大幅に増えた為だと予測する。持ち込み業者様に左右される場合が多いが増加傾向は良いと言える。

○社会貢献

特定非営利活動法人への活動の継続という目標はコロナ過の中でも達成できました。次年度も、コロナウィルスの状況のみで、継続、新たな仕事依頼ができればと考えています。

○全体の結果と評価・次年度の取組課題

前年度よりコロナウイルスによる感染が広がっている状況下で、エコアクション21への取り組みが思うように行えない状況でした。エアコンや暖房を入れ窓を開けての換気などといった方法で作業を行う。現場移動は密にならぬよう、移動のトラックを増やす。現在の状況ではエコアクション21の活動が正常に行えないが、出来る事は少しでも進んで環境に配慮した行動が取れる社員の意識を向上出来ればと思う。コロナウイルスが収まれば、以前のような活動を再開したいと思う。現状では、細かな指示やミーティングなどは行えない状況だと思うので、コロナウイルスの早期終息を願うばかりです。現在、社員全体での朝礼を行わないので、社員全体に連絡事項が行き渡らない状況です。社員全体に細かな連絡事項など出来る方法も考えて行かなければならないと思います。その他、燃料の高騰により、色々な物が運搬費の関係で値上げや、物によっては入手困難な物が出てきている。トラックを使用して行う仕事もあるので今後の作業をどう改善していかねばならないかが課題と言えるが、現状ではどのような行動をとるべきかが判断出来かねぬ状況だと言える。

環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果ならびに違反、訴訟等の有無

代表取締役副社長 小山和彦が、以下の環境関連法規制等に関し精査した結果、現在及び過去3年間違反、訴訟等の無いことを確認しました。また、近隣地域から苦情もありませんでした。

法規制等の名称	要 求 事 項		順守評価 2021年11月26日
廃棄物処理法	一般廃棄物：取得各市町村許可の確認、更新、取扱品目 技術管理者の配置		○
	産業廃棄物：収集運搬業取得県の確認、更新、取扱品目 技術管理者の配置		○
	産業廃棄物：長野県処分業許可の確認、更新、取扱品目		○
	積替え保管基準		○
	産業廃棄物管理票：期間内の返却、管理、実績報告書及び交付状況報告書の提出		○
騒音規制法	特定施設の事前届出 地域別騒音基準の順守		○
振動規制法	特定施設の事前届出 地域別騒音基準の順守		○
NOx・PM法	排気ガス規制に適合した自動車の使用		○
消防法	指定数量未満の危険物保管の扱い 指定可燃物の扱い（表示看板の有無）		○
悪臭防止法	特定悪臭物質の排出基準の順守		○
グリーン購入法	環境物品等を選択するよう努める		○

代表者による取組みの評価と見直し

7年目を迎えたエコアクション21の認証継続について、未だ収束の目途の立たないコロナ禍に合わせ、断捨離による家庭系一般廃棄物の増加と災害防止対策工事等が多く、忙しい一年となりました。

前年度に引き続き売り上げは顕著に伸び、車両や中間処理施設の使用頻度が上がり、電力及び燃料使用量については目標が未達成でした。

結果として、仕事量増に対しての目標未達成でしたので、内容的にはほぼ満足出来る結果だと考えています。

最近ではこの地域も蔓延防止等重点措置が適用され、特に飲食関連や宿泊施設が相当なダメージを受け、廃棄物の発生も減少の一途をたどっております。また、燃料の高騰が著しく、資材の高騰が顕著に表れてきました。

中間処理後の受入先基準を満たす為の分別や加工の徹底を一段と遂行して、作業員の人数も増やし対応していましたが、受け入れ先においても燃料の高騰と働き方改革による人材確保対応の為、各社処理単価の値上げを余儀なくされて値上通知が届いています。

よって、排出事業者様に理解していただき、運搬賃は据え置きで処分費のみの値上げをお願いしております。

次年度に関しては、引き続きのコロナ対策に合わせ、働き方改革をより一層充実させなければならず、社員が継続して安全で安心できる職場作りが必須と考えております。

その為、エコアクション21の活動も無理や無駄を省き、出来る限りの経費削減を行い、少しでも無駄な電力、無駄な燃料などの使用量を減らし、CO2総排出量の削減を努力していきます。

株式会社 ウェルサイクル

